

地震工学委員会

平成 28 年度 第 1 回 (通算第 176 回) 運営幹事会
議事録 (案)

日時：平成 28 年 5 月 12 日(木)17:00～18:05

場所：土木学会 講堂

出席者：澤田(委員長), 庄司(幹事長)

池田, 市村, 岩田, 小野, 佐藤, 副島, 西山, 原田, 丸山, 福武,
古川, 渡辺, 片岡, 吉見, 豊岡

<配布資料>

幹 176-01 平成 27 年度 第 6 回運営幹事会 議事録案

幹 176-02 平成 28 年度 運営幹事役割分担

幹 176-03 平成 28 年度 小委員会構成

幹 176-04 平成 28 年度 地震工学委員会予算

幹 176-05 平成 28 年度の活動内容

幹 176-06 平成 28 年度 運営幹事会年間スケジュール

幹 176-07 土木学会功績賞への推薦依頼について

幹 176-08 地震工学委員会による土木学会各賞の候補推薦に関わる内規

幹 176-09 平成 27 年度実績の委員会活動度個別調査書

幹 176-10 ギリシャ「神戸学習ツアー」の実施計画 (案)

議事

(1)前回議事録 (案) の確認【確】

- ・原田幹事より、前回議事録案が報告された。議事(9)における平成 28 年度の研究小委員会数が訂正された (8→7)。それ以外については特に意見はなく、議事録として承認された。
- ・講習会における書籍の購入価格に管理費が含まれていることについて、土木学会から翌年度の委員会拡充支援金として管理費分を還元している旨の説明があったことが報告された。還元されるとはいえ、講習会参加者の負担が増えていることから、再度土木学会に申し入れを行うことになった。

(2)平成 28 年度 地震工学委員会 運営幹事会の体制・役割分担について

- ・委員長、幹事長、留任幹事、退任幹事、新任幹事、新任アドバイザーの自己紹介が行われた。
- ・庄司幹事長より、平成 28 年度の運営幹事会の体制と役割案が提示され、承認された。平成 28 年度で退任する幹事が 7 名と多いため、安定的な役割引継ぎを目的に、退任予定幹事の主担当を新任幹事が引き継ぐ内容となっている。担当幹事間で円滑な役割引継ぎを行うことになった。
- ・平成 28 年度の土木学会全国大会において熊本地震に関する行事が開催される予定である旨の情報が片岡アドバイザーからあった。全国大会担当幹事が内容を確認するとともに、地震工学委員会（委員・顧問・小委員会）が積極的に関与できるように全国大会実行委員会、並びに地震工学委員会内に働きかけを行うことになった。

(3)平成 28 年度 小委員会構成について

- ・平成 28 年度は 5 つの共通小委員会、7 つの研究小委員会で活動を行うことが確認された。
- ・平成 28 年度で 3 つの小委員会が活動を終了するため、新たな小委員会の立ち上げが必要であり、運営幹事会から委員に働きかけを行うこととなった。特に熊本地震に対する小委員会設立が必要であるとの意見が出された。
- ・小委員会の活動年度を明確にするため、活動終了時期をできるだけ年度に合わせる必要があるという意見が出された。

(4)平成 28 年度 地震工学委員会予算について

- ・庄司幹事長から平成 28 年度の予算案が提示され、確認された。
- ・土木学会からの予算通達は未だであるが、小委員会予算配分を次回の運営幹事会で行うことができるように、各小委員会に活動補助費申請を依頼することになった。

(5)平成 28 年度の活動内容について

- ・庄司幹事長から平成 28 年度の活動内容案が提示され、確認された。
- ・平成 28 年度は昨年度に比べ小委員会が減少しており、関連行事も開催されないことから、活動度 A 評価を継続するためには、昨年度以上の活動を行う必

要があることが確認された。

(6)年間スケジュールの確認

- ・ 庄司幹事長から年間スケジュールが提示され、確認された。
- ・ 平成 29 年度の全国大会研究討論会に申請できるように、事前に小委員会と調整する必要があることが確認された。

(7)土木学会功績賞への推薦依頼について

- ・ 庄司幹事長から顧問の方から元委員の方を功績賞に推薦して欲しい旨の依頼が届いていることが報告された。
- ・ 地震工学委員会の推薦規定に従い、適切に候補者を選定することが確認された。

(8)ギリシャ「神戸学習ツアー」の実施計画（案）

- ・ 渡辺幹事より、地震防災技術普及小委員会が行うギリシャ「神戸学習ツアー」の実施計画（案）が報告された。
- ・ 神戸学習ツアーの一環として、6月13日に交流講演会を開催することが報告された。英語での講演会のため、日本人実務者の参加は多く見込めないことから、東京近郊の大学の留学生に案内し出席者を確保するなどの取り組みが必要である等の意見が出された。
- ・ iso23469 の普及活動等、他の委員会活動とも連携して考えて欲しいとの意見が出された。

(9)その他

- ・ 古川幹事より、地震工学研究発表会の優秀講演賞の表彰を12月の総会で行うことが提案され了承された。また、地震工学研究発表会期中での表彰の可否について論文集編集小委員会が検討することになった。

(10)次回

- ・ 6月28日、7月6日、7日で調整中

以上

(記録：池田)